

平成 24 年 2 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成 24 年 1 月 6 日

上場会社名 株式会社レデイ薬局 上場取引所 大  
 コード番号 3027 URL http://www.lady-drug.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三橋 信也  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 藤田 和郎 (TEL) 089-917-8000  
 四半期報告書提出予定日 平成 24 年 1 月 12 日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 24 年 2 月期第 3 四半期の業績 (平成 23 年 3 月 1 日～平成 23 年 11 月 30 日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24 年 2 月期第 3 四半期	37,205	36.0	651	121.3	756	105.0	259	△37.2
23 年 2 月期第 3 四半期	27,366	—	294	—	368	—	412	—

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24 年 2 月期第 3 四半期	12,194.86	—
23 年 2 月期第 3 四半期	19,410.86	—

(注) 平成 23 年 2 月期第 3 四半期は平成 22 年 4 月 1 日から平成 22 年 12 月 31 日までの期間であり、平成 22 年 9 月 1 日付で連結子会社を吸収合併しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24 年 2 月期第 3 四半期	25,513	3,733	14.6	175,267.55
23 年 2 月期	24,634	3,491	14.2	164,257.90

(参考) 自己資本 24 年 2 月期第 3 四半期 3,733 百万円 23 年 2 月期 3,491 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23 年 2 月期	—	1,000.00	—	1,000.00	2,000.00
24 年 2 月期	—	1,000.00	—		
24 年 2 月期(予想)				1,000.00	2,000.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成 24 年 2 月期の業績予想 (平成 23 年 3 月 1 日～平成 24 年 2 月 29 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通 期	50,000	—	869	—	1,000	—	321	—	15,099.49	

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

(注) 平成 23 年 2 月期は、事業年度の変更に伴い 11 ヶ月間の変則決算となっているため、対前期増減率は記載しておりません。

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 有

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年2月期3Q	21,299株	23年2月期	21,259株
24年2月期3Q	-株	23年2月期	-株
24年2月期3Q	21,260株	23年2月期3Q	21,259株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法における四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P.2「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(第3四半期累計期間) .....	5
(第3四半期会計期間) .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

前事業年度において事業年度の変更を行っていることから、前第3四半期累計期間は平成22年4月1日から平成22年12月31日まで、当第3四半期累計期間は平成23年3月1日から平成23年11月30日までの実績をもとに記載しております。

なお、前第3四半期累計期間において平成22年9月1日付で連結子会社を吸収合併しております。

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後、企業の生産活動など一部においては緩やかに持ち直しの兆しが見られるものの、欧州の政府債務危機による海外経済の低迷や円高の進行など、景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような状況のもとで当社は、中四国で最高の品質とサービスを提供するドラッグストアの創出を目指し、価格と商品機能に訴求したお客様視点の売場作り、接客力の改善に取り組みながら、お客様の感動満足度向上に努めてまいりました。また、調剤事業部門においては、システムの整備を進めるとともに店舗数拡大に向けた取り組みを強化しております。

当第3四半期累計期間における出退店につきましては、徳島県で1店舗、香川県で1店舗、愛媛県で2店舗を開店し、広島県で1店舗を閉店いたしました。これにより、当第3四半期累計期間末の店舗数は200店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は37,205,338千円（前年同四半期比36.0%増）、営業利益は651,720千円（同121.3%増）、経常利益は756,512千円（同105.0%増）、四半期純利益は259,262千円（同37.2%減）となりました。

事業部門別につきましては、ドラッグストア事業部門の売上高が34,922,657千円（前年同四半期比36.9%増）、調剤事業部門の売上高が2,282,681千円（同22.4%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債、純資産に関する分析

当第3四半期累計期間末の総資産は、25,513,580千円（前事業年度末比878,605千円増加）となりました。これは主として商品448,969千円、流動資産（その他）378,118千円、有形固定資産（その他）が237,567千円増加したことによるものです。

負債につきましては、21,780,556千円（前事業年度末比637,540千円増加）となりました。これは主として支払手形及び買掛金212,028千円、流動負債（その他）383,233千円、固定負債（その他）が255,305千円増加したものの、短期借入金が325,060千円減少したことによるものです。

純資産につきましては3,733,023千円（前事業年度末比241,064千円の増加）となりました。これは主として利益剰余金が216,744千円増加したことによるものです。

#### キャッシュ・フローの状況に関する分析

当第3四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ71,726千円減少して1,118,227千円となりました。

#### （営業活動によるキャッシュフロー）

営業活動の結果、獲得した資金は577,327千円（前年同四半期は1,593,532千円の獲得）となりました。これは主として、税引前四半期純利益497,712千円、減価償却費375,784千円、仕入債務の増加額212,028千円等による資金の増加に対して、たな卸資産の増加額477,184千円等により資金が減少したためであります。

#### （投資活動によるキャッシュフロー）

投資活動の結果、使用した資金は312,283千円（前年同四半期は122,653千円の使用）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出365,320千円等により資金が減少したためであります。

#### （財務活動によるキャッシュフロー）

財務活動の結果、使用した資金は336,770千円（前年同四半期は582,285千円の使用）となりました。これは主として、短期借入れによる収入1,350,000千円、長期借入れによる収入2,402,500千円等による資金の増加に対して、短期借入金の返済による支出1,675,060千円、長期借入金の返済による支出2,295,514千円等により資金が減少したためであります。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年2月期の通期業績予想につきましては、平成23年4月11日付にて発表いたしました業績予想に変更はございません。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 棚卸資産の評価方法

四半期会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前事業年度末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 四半期キャッシュ・フロー計算書

前四半期会計期間まで営業キャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しておりました「未払費用の増減額」は、金額的重要性が増したため区分掲記いたしました。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,298,227	1,369,953
売掛金	574,929	557,491
商品	8,049,981	7,601,012
その他	1,764,598	1,386,479
流動資産合計	11,687,737	10,914,936
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,496,061	3,571,810
土地	4,852,405	4,852,405
その他(純額)	1,279,202	1,041,635
有形固定資産合計	9,627,669	9,465,850
無形固定資産	168,622	113,395
投資その他の資産	4,029,551	4,140,791
固定資産合計	13,825,843	13,720,038
資産合計	25,513,580	24,634,975
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,864,831	7,652,802
短期借入金	308,260	633,320
1年内返済予定の長期借入金	2,598,621	2,571,588
未払法人税等	267,271	158,125
賞与引当金	182,000	271,000
その他	1,332,498	949,264
流動負債合計	12,553,483	12,236,101
固定負債		
長期借入金	7,461,422	7,381,469
退職給付引当金	170,520	193,229
役員退職慰労引当金	9,425	11,963
資産除去債務	243,748	233,600
その他	1,341,957	1,086,652
固定負債合計	9,227,073	8,906,914
負債合計	21,780,556	21,143,016
純資産の部		
株主資本		
資本金	576,141	573,141
資本剰余金	1,297,616	1,294,616
利益剰余金	1,856,294	1,639,549
株主資本合計	3,730,053	3,507,308
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,970	15,349
評価・換算差額等合計	2,970	15,349
純資産合計	3,733,023	3,491,958
負債純資産合計	25,513,580	24,634,975

( 2 ) 四半期損益計算書  
( 第 3 四半期累計期間 )

( 単位 : 千円 )

	前第 3 四半期累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)	当第 3 四半期累計期間 (自 平成23年 3 月 1 日 至 平成23年11月30日)
売上高	27,366,373	37,205,338
売上原価	20,151,290	27,240,904
売上総利益	7,215,083	9,964,433
販売費及び一般管理費	6,920,543	9,312,712
営業利益	294,539	651,720
営業外収益		
受取利息	22,114	24,438
受取賃貸料	169,971	222,174
受取手数料	130,986	162,614
その他	52,792	88,239
営業外収益合計	375,865	497,467
営業外費用		
支払利息	175,553	201,301
賃貸費用	113,544	182,604
その他	12,341	8,769
営業外費用合計	301,439	392,676
経常利益	368,965	756,512
特別利益		
投資有価証券売却益	-	314
抱合せ株式消滅差益	244,874	-
受取保険金	-	26,167
その他	35,816	-
特別利益合計	280,691	26,481
特別損失		
投資有価証券売却損	-	7,900
投資有価証券評価損	-	48,384
固定資産除却損	8,549	15,268
減損損失	21,217	194,603
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	49,512	-
災害による損失	-	19,125
その他	1,259	-
特別損失合計	80,538	285,281
税引前四半期純利益	569,119	497,712
法人税、住民税及び事業税	171,796	372,610
法人税等調整額	15,332	134,160
法人税等合計	156,463	238,449
四半期純利益	412,655	259,262

(第3四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期会計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)
売上高	12,670,204	11,821,716
売上原価	9,294,349	8,574,482
売上総利益	3,375,854	3,247,234
販売費及び一般管理費	3,166,789	3,062,201
営業利益	209,064	185,033
営業外収益		
受取利息	8,546	8,085
受取貸料	69,820	74,271
受取手数料	55,317	55,410
その他	32,906	24,020
営業外収益合計	166,590	161,787
営業外費用		
支払利息	67,255	65,563
賃貸費用	46,252	61,173
その他	8,156	1,635
営業外費用合計	121,665	128,371
経常利益	253,989	218,448
特別利益		
投資有価証券評価損戻入益	-	11,390
受取保険金	-	26,167
収用補償金	34,133	-
その他	1,683	-
特別利益合計	35,816	37,557
特別損失		
投資有価証券売却損	-	7,900
固定資産除却損	620	427
減損損失	15,654	-
災害による損失	-	19,125
その他	794	-
特別損失合計	17,068	27,453
税引前四半期純利益	272,737	228,553
法人税、住民税及び事業税	112,034	150,226
法人税等調整額	7,151	46,399
法人税等合計	119,186	103,826
四半期純利益	153,551	124,726



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	569,119	497,712
減価償却費	283,140	375,784
賞与引当金の増減額(は減少)	46,239	89,000
退職給付引当金の増減額(は減少)	15,692	22,708
固定資産受贈益	7,635	34,404
受取保険金	-	26,167
投資有価証券評価損益(は益)	265	48,384
抱合せ株式消滅差損益(は益)	244,874	-
投資有価証券売却損益(は益)	1,440	7,585
受取利息及び受取配当金	24,752	27,542
支払利息	175,553	201,301
収用補償金	34,133	-
有形固定資産除却損	8,549	15,268
減損損失	21,217	194,603
災害損失	-	19,125
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	49,512	-
売上債権の増減額(は増加)	82,649	17,438
未収入金の増減額(は増加)	20,027	22,015
たな卸資産の増減額(は増加)	255,326	477,184
預け金の増減額(は増加)	367,267	126,434
仕入債務の増減額(は減少)	1,739,594	212,028
未払費用の増減額(は減少)	-	406,228
その他	168,919	151,442
小計	2,048,365	1,027,716
利息及び配当金の受取額	3,324	3,739
利息の支払額	168,493	209,008
保険金の受取額	-	7,787
法人税等の支払額	289,664	252,907
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,593,532	577,327
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	190,000	180,000
定期預金の払戻による収入	210,000	180,000
有形固定資産の取得による支出	117,287	365,320
投資有価証券の取得による支出	39,976	449
投資有価証券の売却による収入	1,940	20,595
貸付けによる支出	-	25,000
貸付金の回収による収入	90,320	106,855
差入保証金の差入による支出	120,056	29,995
差入保証金の回収による収入	44,125	14,465
その他	1,717	33,434
投資活動によるキャッシュ・フロー	122,653	312,283

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,650,000	1,350,000
短期借入金の返済による支出	2,974,980	1,675,060
長期借入れによる収入	3,100,000	2,402,500
長期借入金の返済による支出	2,241,587	2,295,514
社債の償還による支出	25,000	-
ファイナンス・リース債務の返済による支出	37,569	82,177
株式の発行による収入	-	6,000
配当金の支払額	53,147	42,518
財務活動によるキャッシュ・フロー	582,285	336,770
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	888,594	71,726
現金及び現金同等物の期首残高	503,465	1,189,953
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	783,227	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,175,286	1,118,227

( 4 ) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

( 5 ) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。